

① 経営体の概要

- 所在地:佐賀県白石町
- 経営体名:木室 哲郎
- 経営内容:米(8ha)、麦(1ha)、玉ねぎ(14ha)、
キャベツ・はくさい(4 ha)、なたね(70a)
- 従業員:6名
(木室氏夫妻、両親、パート2名(男性:年間雇用))

② 導入技術・システム(商品名・サービス名と企業名)

- クボタGPSガイダンスシステム「GPAS」
(トラクター2台、ブームスプレーヤー1台に設置)
- KSAS(クボタスマートアグリシステム)

③ 導入の経緯

- 農機メーカーに薦められ、トラクターに後付け型のGPSガイダンスシステムを導入し、作業の効率化を実感できたことから、更に1台のトラクターと乗用管理機にも導入した。
- さらに、ほ場毎の作業管理が必要と考え、KSASも導入した。

④ 導入に当たり活用した補助事業等(国、県)

- なし。

⑤ 導入してどうだったか(その1 導入前との比較、効果)

- GPSガイダンスシステム「GPAS」
 - ・ 代掻き作業では耕耘した箇所判定が難しいが、GPSにより耕耘箇所の重複を最小限にすることで作業時間が短縮できる。
ブームスプレーヤーによる防除作業でも、肥料・農薬の散布範囲を設定し、散布箇所の重複を最小限にすることで肥料・農薬の使用量を抑えることができる。
 - ・ 導入前は、散布範囲の確認のため2名の人員を要していたが、導入後は1名で済むようになった。
- KSAS
 - ・ オペレーターの端末へ地図(ほ場図)が表示されるので、ほ場を間違えることなく、効率的に作業できる。
 - ・ ほ場ごとの収穫量、施肥量や農薬散布量とその経費が把握でき、ほ場管理に効果的である。

⑥ 導入してどうだったか(その2 改善してほしい点、課題)

- 現在のところ、特になし。

